

組合員各位

『第23回 ヤング映像クリエイターを励ます賞』について

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

早速ですが、今年度の『ヤング映像クリエイターを励ます賞』の募集要項について組合員各位にご案内いたします。

世界的に猛威を奮っている新型コロナウイルス感染拡大が長期化する一方、制作現場は一変しウィズコロナの対応を余儀なくされた一年でした。

出演者、現場関係者の消毒、検温、PCR検査、また社員の健康管理はもはや当たり前となり、制作自体の縮小傾向は続き、特に若い制作者が活躍する現場が少なくなる状況が今も続いております。

本賞に関しては、関係者で議論し様々な意見がありましたが、「こんな困難な状況だからこそ若い人材にスポットを当てるこの賞は必要である」との結論に至り来年も開催することに致しました。

若きクリエイターを育てる為にも、是非この機会を利用し多数の作品を応募していただきたくご案内申し上げます。(表彰式の模様は、例年通りキー局5局に当日夜や翌日のニュースで取り上げて放送していただく予定です。)

今回も感染拡大防止の観点から、表彰式は関係者のみを予定しておりますので予めご了承ください。

『ヤング映像クリエイターを励ます賞』応募対象者は、放送日当日30歳以下の番組制作に責任を持つプロデューサー及びディレクターで、令和2年11月1日から令和3年10月31日までに、正会員社の社員及び契約社員が制作し、テレビメディア(BS・CS・CMも含む)で放送されたものが対象となっております。(コーナー企画も対象です。)

※ 詳細は別紙をご覧ください。

【作品申込書は当組合 HP (<http://www.jvig.net>) のニュース&トピックスよりダウンロード可能です。】

第5回より経済産業省から『経済産業大臣賞』という大変名誉ある賞を授与していただき、今年度も引き続き授与いただく予定でおります。

組合のホームページにて過去の受賞者の方々の作品タイトル、テレビ局名、番組名、制作会社名、受賞者氏名をご案内しております。是非ご覧ください。

お申込みは●確認表は11月5日(金)まで、●応募作品 DVD 到着期日は11月12日(金)午前までに※時間厳守①作品申込書、②DVD7枚お送りください。DVDはCMを削除した形で、コーナー企画はその部分だけダビングしてください。

皆さまの御応募をお待ちしております。

※ このご案内は、正組合員全社に送付しております。

日本映像事業協会
事 務 局

【第23回 ヤング映像クリエイターを励ます賞】

- <目的> 日本映像事業協会に加盟している各社の若い映像クリエイターたちの才能を更に伸ばすための組合主催による表彰イベント。
- <名称> 「ヤング映像クリエイターを励ます賞」 主催 日本映像事業協会
- <後援> 経済産業省、NHK、日本テレビ、テレビ朝日、TBS テレビ、テレビ東京、フジテレビジョン、放送文化基金、放送批評懇談会、放送番組センター（予定）
- <運営> このイベントは日本映像事業協会が主催し、その企画・運営は協会理事会が指名する「ヤング映像クリエイターを励ます賞」運営委員会が行う。
- <審査> ヤング映像クリエイター賞の審査は運営委員会が任命した審査員により厳正に行い令和4年1月下旬(1月26日)に ANA インターコンチネンタルホテル東京にて開催する『ヤング映像クリエイターを励ます賞・表彰式』0.において発表・表彰する。
- <内容> ♡ 令和2年11月1日～令和3年10月31日までに日本映像事業協会正会員社が制作し、全放送メディア(BS・CS・CM・ケーブルテレビも含む)で放送された応募作品の中から、優秀と認められた作品を制作した『ヤングクリエイター』を若干名表彰する。
「経済産業大臣賞」ー1名 「優秀賞」、「努力賞」、「ホープ賞」ー若干名
※受賞者所属の会社には受賞が決定次第ご連絡させていただきます。
(12月下旬を予定)
- ♡ ヤング映像クリエイターとは正会員社の社員及び契約社員で、制作番組の放送日当日現在、30歳以下で番組制作に責任を持つプロデューサー及びディレクターをいう。
- ♡ ヤング映像クリエイター表彰の審査は、そのクリエイターの制作した作品をもって行うが、その提出作品は期間中に放送されたものであれば、番組及び番組中のコーナー企画でも応募できるものとする。
- ♡ 応募作品について
正組合員1社、1作品につきエントリー代として、2万円を申し受けます。
但し、同一者の複数応募、同一番組の複数応募は出来ませんのでご注意ください。
- ♡ 応募番組はDVD(同一内容)7枚を各個別のプラケースに入れて、所定の申込書を添え、令和3年11月12日(金)午前までに事務局に提出することとする。
(必ず DVD7枚ご用意ください。)
但し、コーナー企画やミニ番組については審査参考のため他の制作作品数本の提出を求めることがある。